■「みんなで描こう泉佐野の未来」応募作文

●長南中学校　２年　庄司　敬彦

魅力のある町

　泉佐野といえば関空。

　僕が生まれた年に関西国際空港が開港した。それから十四年、空の玄関口として、多くを期待されたものの、あてが外れた感じがあるようだ。空港島に降りたった人達は、泉佐野を素通りしてしまう。なら、もっと泉佐野を魅力ある町にしよう。では、何があって何がないか。

　犬鳴温泉、町屋、慈眼院、多宝塔、秋祭り、アウトレットモール、りんくう公園、田舎の自然、海、山、犬鳴ポーク、水なす、じゃこごうこ‥‥。どれも身近にあるけど、なじみがないように思われる。

　もっと自分達が、この泉佐野を好きになって楽しんだら、人がどんどん集まり、行ってみたくなる町になると思う。

　迎える側の自分たちはオープンになり、人見知りしてはいけない。子供から大人まで、もっとボランティアや地域の行事に参加すべきだ。

　とにかく、こんな町になってほしいと言うのは簡単だ。しかし、言うは安く、行うは難し。実現するのは難しいと思う。でもできないことではないと思う。

人々が協力して泉佐野を魅力のある町にしていけたらいいなと思う。